

ラジオを聞いて「はんとけん体操」

10月10日(金)の「転倒予防の日」に、地域おこし協力隊の尾野真衣子隊員がFMさつませんだいの放送を通じて、市内一斉に「はんとけん体操」の実施を呼び掛けました。

市内42カ所の会場で511人が参加しました。体操時に流した6曲の歌は、小学生や地域の方々の声を事前収録したもので、放送に合わせ楽しく体操を行いました。



観光ビジネス・ソフトウェア活用 of 公開授業

10月16日(木)・17日(金)、川内商工高等学校で、商業科の教員による学習指導研究会を開催しました。

「観光ビジネス」と「ソフトウェア活用」をテーマにした今回の研究会には県内外から約120人が参加しました。研究授業では、グループワークで意見交換をするなど生徒が実践的な課題に取り組む様子が見られ、これからの商業教育・観光教育について理解を深めました。



【情報提供：川内商工高等学校】

八幡神社で「内侍舞」を奉納

10月18日(土)・19日(日)、八幡神社(里町里)で、「秋の例大祭」が開催され、県指定無形民俗文化財「甕島の内侍舞」が奉納されました。

かつて神舞の前に舞われていた内侍舞は、そのほとんどが消滅し、甕島の内侍舞は貴重な伝統芸能となっています。

また、相撲大会も行われ、親子相撲では島立ち前の中学3年生が保護者と体をぶつけ合い、会場には拍手と歓声が響き渡っていました。



【情報提供：里地区コミュニティ協議会】

スポーツの秋を楽しむ

10月12日(日)、市総合運動公園で、第2回薩摩川内市スポーツフェスタを開催しました。

約3,000人の参加者が、恐竜レースや400mリレーなどのチームで競う対抗戦、柔道やラグビー、普段体験できないニュースポーツなどさまざまなスポーツを通して汗を流しました。



恐竜と共に生きた哺乳類の謎に迫る

10月18日(土)、鹿島公民館で、愛媛大学准教授の楠橋直氏による化石講演会を行いました。

恐竜と共に繁栄した哺乳類について、甕島での発掘調査などで得られた最新の発見を交えた講演に、参加者は楽しみながら学びました。



防火の大切さを楽しく学ぶ

10月23日(木)・24日(金)、消防局で、市内の幼年消防クラブを対象に防災教室を実施しました。

参加した子どもたちは、女性消防団による大型紙芝居の鑑賞や火災の怖さ、避難口誘導灯の役割、住宅用火災警報器の大切さを楽しく学びました。また、洋服に火が付いた時の対処法も体験し、防火への意識を高めました。



「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供いただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。



今回は、国、県の無形民俗文化財に指定されている「甕島のトシドン」と「甕島の内侍舞」について紹介します。両文化財とも年に1回の伝統行事として地域の皆さんが積極的に関わっています。



甕島のトシドン

1977(昭和52)年に国指定無形民俗文化財となり、2018(平成30)年には、「来訪神・仮面・仮装の神々」としてユネスコの無形文化遺産に拡張登録されました。

地域で守り続ける伝統

トシドンは、大晦日の晩に幼児のいる家々を訪れ、日々の行いの良いところは褒め、悪いところは戒めます。これが終わると大きな餅(歳餅)を与えて去ります。

保存会の方に話を伺うと、「地域で神様とされているトシドンの保存・継承は、人材確保の面で将来的にやや心配

2001(平成13)年に県指定無形民俗文化財となり、八幡神社(里町里)の秋の大祭で奉納されます。

甕島の内侍舞

内侍は毎年里地区の女兒の中から選ばれます。今年内侍(マツジョウ)に選ばれた中学生は、「舞うことは大変でしたが、とても貴重な体験ができ、島立ちを前にいい思い出になった」と話します。

奉納後には神事後の供膳、酒宴に当たる直会や、その年に島立ちする男の子とその父親による親子相撲大会が開かれます。



問合せ先
社会教育課文化財G
☎(22)7251

水道管の凍結にご注意を

問合せ／水道局上水道課
☎(20)8502

水道管は、気温がマイナス4度以下になると凍結しやすくなります。凍結した場合、水が出なくなるだけでなく、水道管が破裂し、漏水につながる恐れがあります。

寒波が来る前に家庭の水道管を点検し、凍結破損による漏水を予防しましょう。

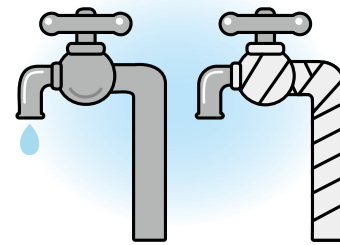
また、事前に水道メータやバルブの位置を確認しておきましょう。

◎凍結しやすいところ

- ・屋外の「むき出し」になっている水道管
- ・家の北側で、日の当たらない場所の蛇口
- ・風当たりの強い場所の水道管



- 水道管を凍結させないために次のことが凍結予防に効果的です
- ①屋外でむき出しになっている水道管や蛇口を、布や市販の保温材(ホームセンターなどで販売)を巻いて保温する。
- ②事前に蛇口を少し開けた状態にしておく。



●凍結して水が出ないときは

破損させないために「蛇口をひねらない」「熱湯を直接かけない」ことが原則です。水道管をタオルなどで覆ってぬるま湯(50度)をかけましょう。

●宅地内で漏水したときは

本市指定の水道修理業者に修理を依頼してください。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



▲市ホームページ



▲YouTube